

1 令和2年度入学者選抜における主な変更点等

(1) 学部・学科再編

広島キャンパス

学 部	学 科
人間文化学部	国際文化学科 健康科学科
経営情報学部	経営学科 経営情報学科



学 部	学 科	コ ー ス
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース 地域産業コース 健康科学コース

庄原キャンパス

学 部	学 科
生命環境学部	生命科学科 環境科学科



学 部	学 科	コ ー ス
生物資源科学部	地域資源開発学科	—
	生命環境学科	生命科学コース 環境科学コース

三原キャンパス（保健福祉学部）は変更なし

(2) 地域課題探究枠

本学が新たな目標として掲げる「課題探究型地域創生人材」の育成に向け、広島県に限らず全国、さらには海外も含め、志願者が自ら暮らし、活動してきた地域に目を向け、そこに生じている様々な分野の課題に関心を持ち、他者とも協働しながら主体的に課題探究を行い、その解決に向けて積極的に行動していこうとする熱意や意欲を重視した選抜を行います。
※令和2年度入学者選抜では、推薦入試が「地域課題探究枠」に該当します。（保健福祉学部を除く。）

(3) 「経過選択制」の導入に伴う募集枠

- 一般選抜（後期日程）に、経過選択制の導入に伴う募集枠を設けます。
- ・地域創生学部地域創生学科（地域文化コース及び地域産業コース）
 - ・生物資源科学部生命環境学科（生命科学コース及び環境科学コース）

【経過選択制とは】
 入学段階でコース（専門）を決めてしまうのではなく、大学入学後、幅広い教養や専門の基礎などに触れながら、学生一人ひとりが抱いた興味や関心、将来像などに基づいて、学びたいコースを主体的に選択する制度

(4) A O入試の実施

生物資源科学部地域資源開発学科においてA O入試を実施します。

(5) 個別学力検査等における「総合問題」の出題

教科・科目に対する「知識・技能」を問うことに加えて、高等学校段階までに習得した「知識・技能」を活用（応用）する力をより重視する必要があるため、理解力、表現力、論理的思考力等を総合的にみる形式の問題を出題します。
※令和2年度入学者選抜では、一般選抜（前期日程・後期日程）において総合問題を出題します。（一部の学科・コースを除く。）

地域創生学部

- 一般選抜（後期日程）に、経過選択制の導入に伴う募集枠を設けます。（地域文化コース及び地域産業コース）
- 地域文化コースの推薦入試（一般枠及び異文化体験枠）においては、県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦を募集区分とします。
 なお、「異文化体験枠」の個別学力検査等においては、これまで課していた「外国語によるエッセイ」、「外国語による面接」に替えて、「小論文」を課します。
- 地域産業コースにおける募集区分として、「経営志向枠」及び「応用情報志向枠」を設けます。（一般選抜（後期日程）及び社会人特別選抜を除く。）

生物資源科学部

- 一般選抜（後期日程）に、経過選択制の導入に伴う募集枠を設けます。（生命科学コース及び環境科学コース）
- 地域資源開発学科においてA O入試を実施します。

保健福祉学部

- 一般選抜における試験科目、配点等を次のとおり変更します。

学 科	内 容
看護学科	○大学入試センター試験における「数学」の配点：100点⇒200点 ○個別学力検査等における「面接」の配点：100点⇒200点
理学療法学科	○大学入試センター試験における「理科」： 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目又は物理、化学、生物から1科目（網掛け部分を追加）
作業療法学科	○大学入試センター試験における「英語」の配点：200点⇒250点 ○個別学力検査等における「面接」の配点：250点⇒200点
コミュニケーション障害学科	○大学入試センター試験における「理科」（前期日程のみ）： 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目又は物理、化学、生物、地学から1科目（網掛け部分を追加）
人間福祉学科	○大学入試センター試験及び個別学力検査等におけるすべての教科・科目の配点：各100点⇒各200点

- 人間福祉学科における外国人留学生特別選抜は実施しません。

主な変更点等
選抜日程等
アドミッションポリシー
一般・推薦
社
会
人
帰
国
生
徒
外
国
人
留
学
生
そ
の
他
入
試
デ
ー
タ